

BRAND STATEMENT

このとき、 これから変わるとき。

1on1、

この瞬間が、あなたの節目であるように。

この時から、あなた自身を肯定できるように。

このトキメキが、明日もあなたを輝かせるように。

この時間が、人生の分岐点に出会ったと感じられるように。

Kakeaiの1on1は、継続的に対話の質を高めます。

Kakeai

Kakeaiの「日常的な1on1 機能」

Kakeai
このとき、これから変わるとき。

負担のない事前準備

部下やメンティー



・話したいトピックを選ぶ

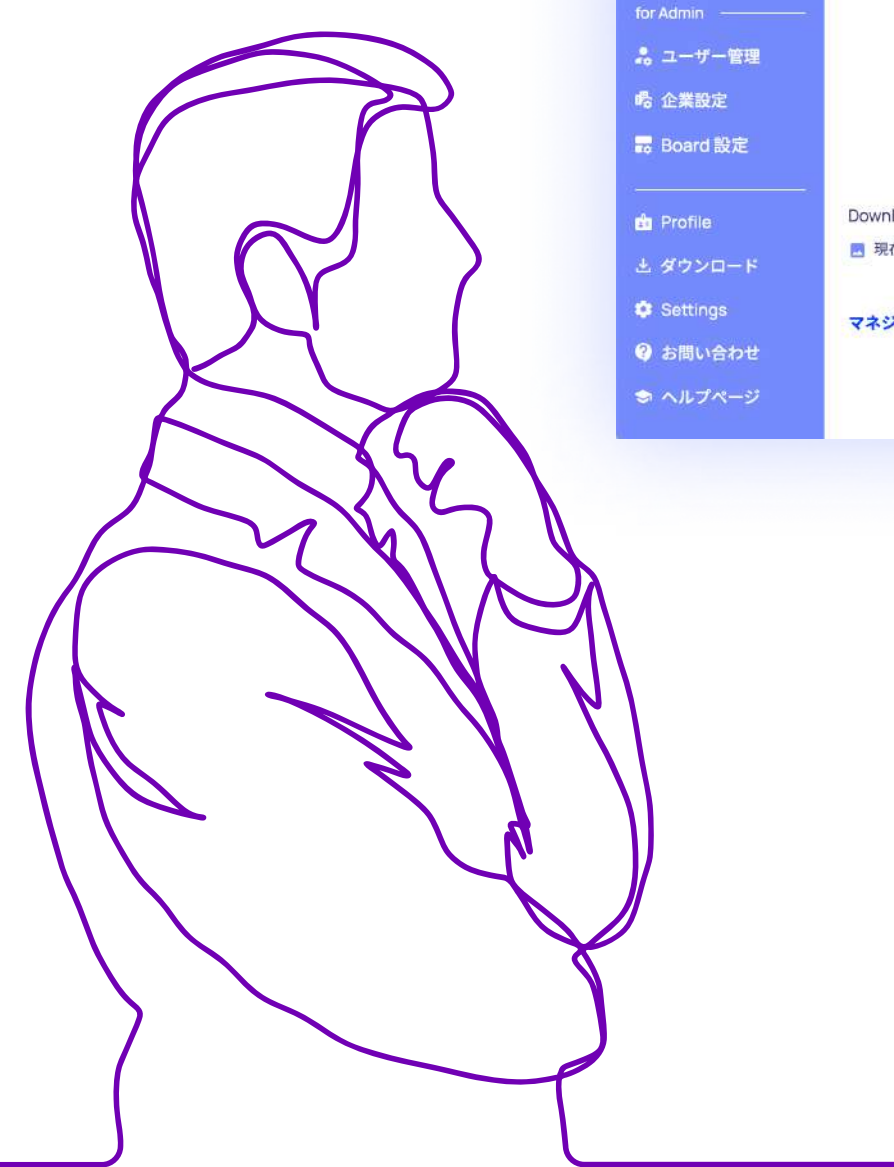
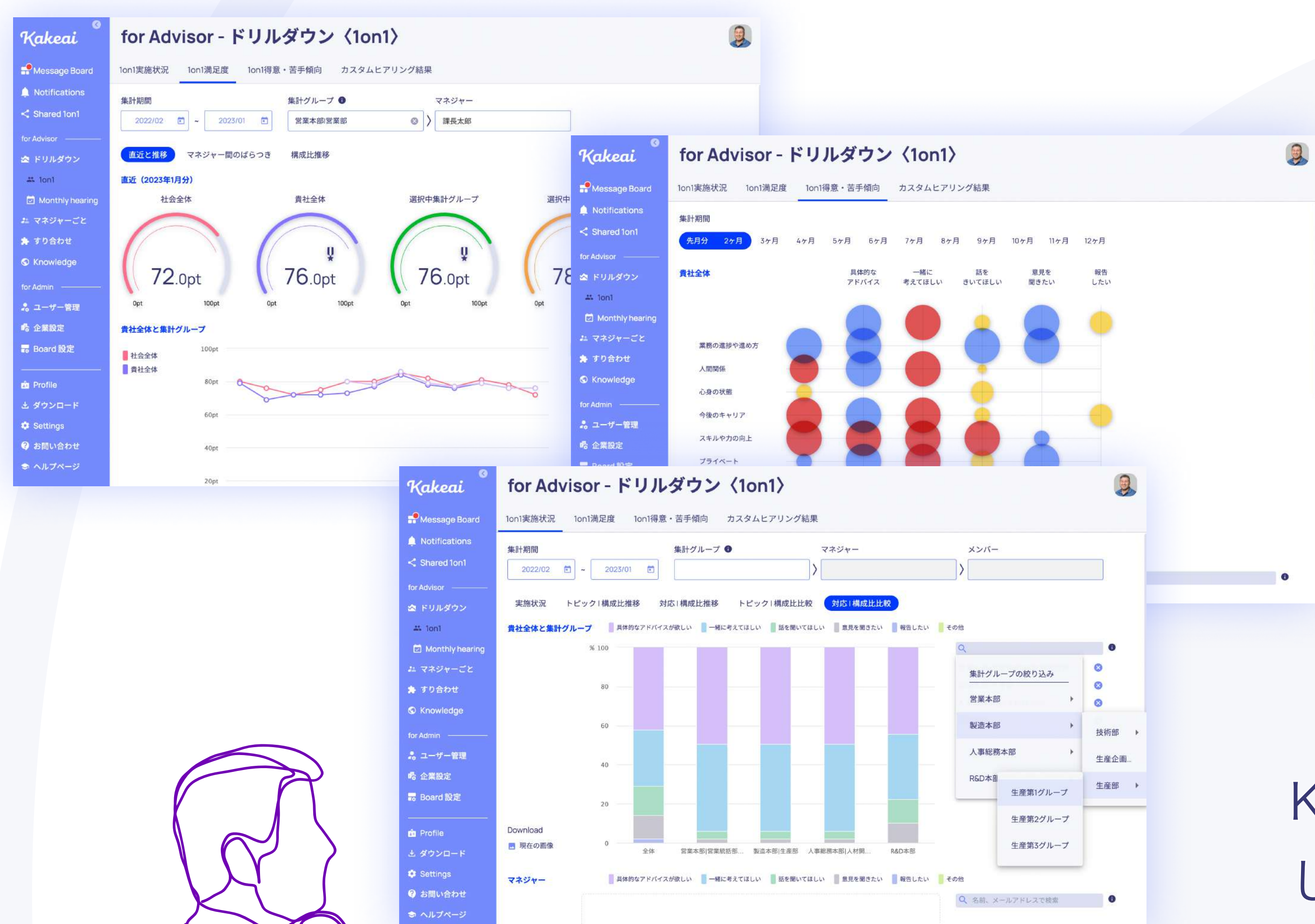
業務の進捗や進め方、人間関係、心身の状態、今後のキャリア、スキルや力の向上、プライベート、会社や部署の方針... (カスタマイズも可能、上司から選択することも可能)

・上司に期待する対応を選ぶ

具体的なアドバイスがほしい、一緒に考えてほしい、話をきいてほしい、意見を聞きたい、報告したい

・Outlook、Googleカレンダー等との同期、会議室予約、1on1希望時間表示...etc.

実態を掴み、シャープに現場を支援



時代に即した マネジメントへの進化

Kakeaiは、日常的な1on1を中心とした、現場のコミュニケーションを変えるさまざまな機能により、従業員の「一律・管理」ではなく「個別・支援」型のマネジメントへの進化を実現します。

経営、エグゼクティブ、人事、企画・推進系部門

- ・1on1の状況や、各組織の1on1の特徴、1on1実施回数等を可視化
- ・外部システム連携によるユーザー管理 ...etc.

Kakeaiにたまる フィードバック



データやAIから改善方法を掴む

- ・1on1ピックデータから、上司自身の得意・苦手をリアルタイムに可視化
- ・数十万のKakeaiユーザーから共有される、具体的な改善策
- ・社会全体や、過去の自分との比較
- ・月1度のサーベイも可能、部下の成長の実感やコンディション把握 ...etc.

上司やメンター



企業が1on1に取り組む背景、課題



1on1ミーティングとは、業務の指示や判断を目的としたミーティングではなく、部下を主役とした、成長や日常的な困りごとの支援を目的としたミーティングです。多くの場合、例えば「2週間に1度30分」「1ヶ月に1度60分」というように、定期的実施されます。

さまざまな背景から取り組みが進む1on1ミーティング

- エンゲージメント向上
- 人的資本経営のための打ち手
- 従業員の多様化への対応
- 社員の定着促進
- 成長支援・育成
- ジョブ型への移行に伴う面談の重要性向上
- 風土改革
- 現場のマネジメント力強化
- 自律的・自立的な現場組織づくり
- 経営計画や戦略の現場接続
- コミュニケーション活性化によるイノベーション創出
- パーパスやミッション・ビジョンの浸透

1on1ミーティングに取り組んでみたが...

非常に重要な取り組みである一方、現場の負担も大きい上に、上司部下の関係性やコミュニケーション力にその質が依存しがちであり、多くの問題が生じます。

信頼関係や力量が影響し、本音がきけない／話せない

上司が話したいことを話し、部下主体の時間にならない

その場限りになって、連続性がない

心理的にも、物理的にも負担が大きく継続できない

かけている時間に対して、効果が低い

質がばらばらで危険（上司の個人力の差が露呈）

上司自身が、どこをどう改善したらよいかわからない

定着や推進の負担が高い

全ての1on1を支える、UX・特許・テクノロジー

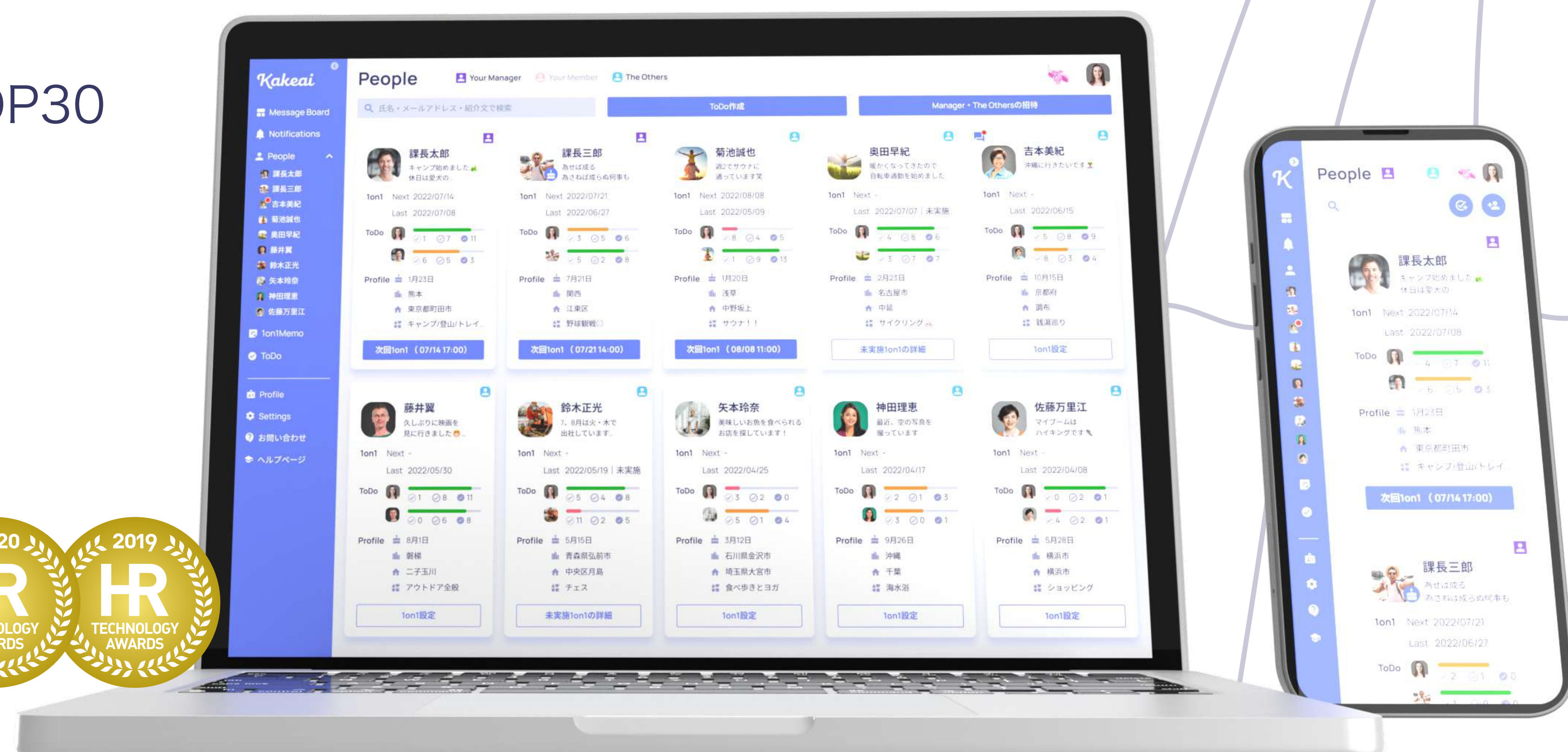
よりよい1on1を追求し設計されたUX

1on1の質を高める、社会のナレッジ展開やAI

1on1の負担を取り除く、便利で楽な仕組み

1on1 専用 に 発明 された 複数の 特許

日本企業で初めて世界のHRtechサービスTOP30
に選出されるなど、国内外からの高い評価



二者間のコミュニケーションにおいて個々人への関わり方を改善するためのコンピュータシステム、方法、およびプログラム 他（特許6534179号、6602996号、6602997号、6651175号、6813219号、7057011号、7057029号、7084665号、米国特許第11461724号）



このとき、
これから変わるとき。

Kakeai